える公共政策大学院だが、 の理念は 日本の政策形成のあり方に 08年度で設立5年目を迎 そ 5 ら来る留学生の数も幅も豊か 望ましい。 そうすれば海外か きるような準備をすることが 英語の授業だけで修了で 間の「選別」 験合格後から省庁への採用の ため、 題意識を持って議論ができる 国家公務員の場合、 においてかなり

充実させている。 られる寄付講座やセミナーを 力を養うために、実務に触れ 現場で生かすことができる能 先端の研究成果を政策形成の ョナルを養成することだ。 革新をもたらすことができる 公共政策分野のプロフェッシ 最 ıý 隆敏教授らの日本人の教員に 究科の藤原帰一教授や北岡伸 語を母語としない教員に英語 もお願いして英語による授業 による授業をしてもらった になる。既に一部では、 一教授、経済学研究科の伊藤 今年からは法学政治学研 日本 が、 評判が良い。

織して卒業生との懇談会を開 支援を行ったり、 らあまり支援の要求はない いたりもしている。 就職状況が良いので学生か 必要がある学生には就職 同窓会を組

させていきたいことは 教育面において今後充実

国際的な連携体制の展望

の拡大を行ったりしてい

. る。

就職に関して設立当初に

描いていた目的を達成できて

は

化」だ。コロンビア大学国際 で既に学生の交換プログラム 公共政策大学院の2校との間 ル国立大学リー 公共政策大学院とシンガポー 一番重点を置くのは「 ・クァンユー 国際 ウムを開くなど研究交流を行 で安全保障に関するシンポジ グラムとは別に、 ン大学公共政策大学院と共同 先ほど言った学生交換プロ プリンスト

う

今後も相手校の十分な検討を 学サンディエゴ校の2校が加 政治学院とカリフォルニア大 を行っている。今年からパリ した上で拡大をしていきた 選択の幅が広がった。 ットワーク)への参加も検討 ている大学4校が中心となっ している。 たGPPN(世界公共政策ネ ている。 また、二重学位制を導入

わり、

受け入れているが、 現在既に、 二重学位制の拡大も目標だ。 行い学位の同時取得ができる 大学間で単位の相互認定を 北京大学の学生を 業生を社会に送り出している

就職傾向は

これまで3回にわたり卒

ついても導入を検討してい 他大学に が役所関係で、 きはあるが、 就職先は年によってばらつ およそ3、 金融機関を始 4 割

二重学位制の拡大をするな \wedge めとする民間企業、マスコミ の就職も多い。 卒業生は問

ない以上、さまざまな就職先 が、 が選ばれているのは良いと思 を維持するための大学院では いると言えるか 現段階での判断は難し 「東大 霞が関」ルー **|**

門とのかかわりが重要になる 価が発揮されるのは、 政策大学院と関係ないキャ は、就職してしばらくは公共 ので、民間に就職した人たち 部署を回る人事制度が大半な てからだろう。 管理職・経営陣クラスになっ 政策大学院で学んだことの真 アを歩むかもしれない。 現在の日本は、 さまざまな 公共部

た今後の対応は 公共政策大学院では実務に 社会人入学生を対 象にし

ら入学すると授業の内容が身 即した形で政策分析を教えて いるので、 数年社会に出てか ıΣ スペースも分散しており、大 一〇分程度かかる場合もあ 授業が受けにくい。 自習 大学院長) 金本良嗣(かねもとよし つぐ)教授 77年コーネル大学大学 (公共政策

現在は4分の1くらいが、職 に着きやすいと思っている。 学院生の一体感も維持しづら

業経験がある学生という構成 いないが、設立時にデザイン まだ具体的な方向性は出て

科教授。

04年より公共政

了。96年より経済学研究

院地域科学博士課程修

策大学院教授を兼任。

科学省の規制が厳しいので、 設置も検討しているが、文部 1年で修了できるコー スの 座の一層の充実も検討した 必要だと思っている。寄付講 したカリキュラムの再検討も

橋大学や北海道大学では社会 なかなか難しい。しかし、一 人を対象に1年修了コー スが ιļ

あるので、 いきたい。 東大でも検討して

公共政策大学院を目指 す

り返った役人の世界ではな 公共政策の現場は、 ふんぞ

だ。最近では、医療政策がら 研究科が連携して作ったもの は法学政治学研究科と経済学 制はどうなるか もともと、公共政策大学院 う志をもつ人にぜひ来てほし かかわりが好きな人、また、 を作る場だ。だから、 人のために何かをしたいとい 人たちと話し、 人との

共政策大学院の中でも興味を 社会全体で関心が高いし、 談を始めている。医療政策は 示す学生が多くなってきてい

究科と連携しようかという相

(聞き手

山田悟史)

の課題は何か 国際化」 以外の現状で

ばっているため移動に徒歩で 第2本部棟などに教室が散ら を持つことだ。 最大の課題は、 法文1号館や 自前の建物

人にメッセー ジを

東大の他組織との連携体 さまざまな利害を持った 何らかの合意

みで医学系研究科や薬学系研